

The Doshisha Times

京都市上京区寺町通丸太町上ル松蔭町140-4 同志社校友会
編集・発行人 山川 寛之 電話(075)251-4393 FAX(075)253-2171
https://www.doshisha-alumni.gr.jp/

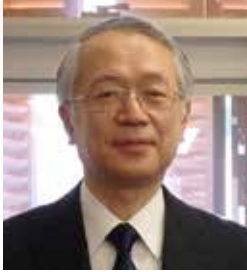
〈聖句〉

わたしたちの救いの神よ
あなたの恐るべき御業(みわざ)が
わたしたちへのふさわしい答(こた)えで
ありますように。
遠い海、地の果てに至るまで
すべてのものがあなたに依(よ)り頼みます。
(旧約聖書 誌編65.6)

〈新島先生のことば〉

真理とは何ぞ。乃ち天の道なり。
天帝の人間に賦与せられたる誠なり。
此誠によりて、人初めて真正の勇を
発すべし。
(新島襄 言志録 16頁)

「知」の総合力で新時代へ挑戦 「ALL DOSHISHA Research Model 同志社77プロジェクト」 —ポストコロナ社会への対応—



同志社大学は多様な専門分野の「知」を結集して、ポストコロナ社会のあるべき姿を模索していく「All Doshisha Research Model 同志社77プロジェクト」に取り組んでいる。2020年は100年に一度ともいわれるパンデミック・新型コロナウイルス感染症の大流行に見舞われ、全世界が困難な状況に追い込まれた。同志社大学では各分野の研究者が「健康・医療」「社会・経済」「教育・文化・生活」の3領域の、「治療」「検査・分析」「予防・感染対策」、「制度・システム」「経営・働き方」「国際」、「教育」「文化・生活様式」「コミュニケーション」の9つの分野にわたる77の緊急研究課題にアプローチする。塚越一彦副学長(研究開発推進機構長)＝写真＝は「大学が77の視点から研究を進める事例は、一つのモデルケースとなりうる。研究成果は広く発信していきたい」と話している。



〈健康・医療〉

■ 治療

新型コロナウイルス受容体の発現を抑制する物質の探索
*三田 雄一郎(生命医科学部 助教)
浦野 泰臣(生命医科学部 准教授)

新型コロナ感染時の嗅覚障害を引き起こす神経メカニズムの解明
*櫻井 芳雄(脳科学研究科 教授)
眞部 寛之(研究開発推進機構 准教授)

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)スパイクタンパクの受容体結合部位を標的とした新規COVID-19治療薬の開発
*高橋 美帆(生命医科学部 助教)

■ 検査・分析

超音波とMRの同時撮像による新しい肺炎診断法の提案
*秋山 いわき(生命医科学部 教授)
超音波医学研究センター

情報技術を生かした新型コロナウイルス検査の効率化
*程 俊(理工学部 教授)

偽陰性判定の低減と利便性の高さを特長とした小型PCRデバイス創製のための基盤研究
*橋本 雅彦(理工学部 教授)

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の高感度プロテオミクス解析
*池川 雅哉(生命医科学部 教授)
角田 伸人(生命医科学部 助教)

共非線形性分析手法による新型コロナウイルスの影響要因分析
*大崎 美穂(理工学部 教授)

自立高齢者におけるCOVID-19抗体保有状況と身体機能との関連：有隣研究
*米井 嘉一(生命医科学部 教授)
八木 雅之(生命医科学部 チェア・プロフェッサー教授)
糖化ストレス研究センター

新型コロナウイルス感染症対応における日独比較のデータサイエンスの実証研究
*鄭 躍軍(文化情報学部 教授)
吉野 諒三(文化情報学部 教授)

■ 予防・感染対策

SNSにおけるインフォデミック抑制に関する研究
*波多野 賢治(文化情報学部 教授)

ポリマーブラシのコンフォメーション変化を利用した抗ウイルス性表面の開発
*東 信行(理工学部 教授)

強力な抗菌性を有する酸化チタン・酸化亜鉛複合粉体の開発

*廣田 健(理工学部 教授)
加藤 将樹(理工学部 教授)

小学校・保育園の臨時休業等が働く親に及ぼした経済的・心理的影響
*川口 章(政策学部 教授)

汎用フィルム・繊維材料の抗ウイルス化を実現する新規コーティング剤の開発
*古賀 智之(理工学部 教授)

新型コロナ対策の有効性認知に関する公衆―専門家間比較
*中谷内 一也(心理学部 教授)

自治体の情報発信と予防行動
*野田 遊(政策学部 教授)

COVID-19対策における専門家会議と政府のサイエンスコミュニケーション
*野口 範子(生命医科学部 教授)

新型コロナウイルス感染症をめぐる主要メディアの報道に関する研究
*小黒 純(社会学部 教授)
伊藤 高史(社会学部 教授)

ペプチドワクチンの有効な投与方法の検討
*田原 義明(理工学部 准教授)

〈社会・経済〉

■ 制度・システム

パンデミック対策に伴う公共交通・観光への影響と今後のあり方について
*青木 真美(商学部 教授)
安達 晃史(商学部 助教)

物理的接触を排除した事業活動の進展とそれに向けた法的課題の検討
*船津 浩司(法学部 教授)

持続可能な地域経済に向けた共創コミュニティの再考
*服部 篤子(政策学部 教授)

ポスト・コロナ時代の紛争解決手続における基本原理の変容とその課題
*川嶋 四郎(法学部 教授)

定常状態の経済への移行過程に関する基礎研究
*三保 学(経済学部 教授)

ポストコロナ時代における企業間電子商取引(B2B e-Commerce)の新たな実務形成と法的問題について
*長沼 健(商学部 教授)
高杉 直(法学部 教授)

新型コロナウイルス感染症に関する危機管理政策の課題
*新川 達郎(政策学部 教授)
風間 規男(政策学部 教授)

公衆衛生・保健機構をSocial Capital

とした、新たな創造的地域・都市そして福祉社会の軌跡と展開―経済思想における「都市社会政策」の実践と福祉社会機能の創造―
*西岡 幹雄(経済学部 教授)
笠井 高人(経済学部 准教授)

創造的人口減少を可能にするまちづくり生態系モデルの構築―withコロナ時代における地域自律と人口分散に向けた処方箋―
*佐野 淳也(政策学部 准教授)
今里 滋(政策学部 教授)

電子署名の法的問題
*高橋 宏司(司法研究科 教授)

新型コロナウイルス感染症への契約法的対応の比較的研究
*上田 誠一郎(法学部 教授)

エコロジカル・フットプリントを用いたポストコロナ時代の生活様式シナリオの環境影響評価
*和田 喜彦(経済学部 教授)
岸 基史(経済学部 准教授)

COVID19以降の世界におけるSDGsの新たな展開
*八木 匡(経済学部 教授)
ライフリスク研究センター

コロナパンデミックに対する迅速な医療対応体制の構築に関する研究
*股 勇(ビジネス研究科 教授)

■ 経営・働き方

コロナ災禍における働き方の変化と対応：全国大企業調査と京都市中小企業調査の比較
*藤本 昌代(社会学部 教授)
働き方と科学技術研究センター

Assessing the impact of Covid-19 on the travel intention and behavior of domestic tourists in Japan
*HANDLER, Isabell(ビジネス研究科 准教授)

テレワークの浸透は人と仕事の管理をどう変えるか?
*樋口 純平(社会学部 准教授)

ポストコロナにおける日本企業がとるべき経営戦略―リーマン危機後の日本企業の主たる経営戦略遂行、実績の考察を踏まえて―
*沖 勝登志(ビジネス研究科 チェア・プロフェッサー教授)

ポストコロナの組織改革に関する定量的・定性的研究
*太田 肇(政策学部 教授)

ウィズコロナ時代における中小企業の企業家行動にかんする研究
*関 智宏(商学部 教授)

Value-focused Decision Model for Sustainable Business Management
*須貝 フィリップ(ビジネス研究科 教授)

COVID-19時代の新しいコーポレート・リスク・ガバナンスのあり方に係る行動経済学的分析
*田口 聡志(商学部 教授)
山本 達司(商学部 教授)

コロナ禍におけるリモートワークによる職場・仕事マネジメントの変化と組織・従業員への影響についての研究
*田中 秀樹(政策学部 准教授)

曖昧性下におけるリアルオプション・アプローチを用いた事業価値評価モデルの開発
*辻村 元男(商学部 教授)

ポストコロナ時代に求められる共創価値創出への行動変容
*瓜生原 葉子(商学部 准教授)

Market Category Formation Studies
*山内 雄貴(商学部 准教授)

■ 国際

留学生の見たコロナ禍の日本：人種差別、テレワークと国際化、多言語感染予防行動推進アプリ、清浄と癒しの日本文化・芸術の理解
*飯塚 まり(ビジネス研究科 教授)
Well-being研究センター

コロナウイルス流行により生じる世界のアジア人・アジア系に対するヘイトに関する調査研究
*和泉 真澄(グローバル地域文化学部 教授)

イスラーム世界における新型コロナウイルス感染症に対するレジリエンスの研究
*内藤 正典(グローバル・スタディーズ研究科 教授)
ヒューマン・ディベニティ研究センター

火葬と土葬―コロナ時代における疫学的公共善と宗教的自由の両立
*中西 久枝(グローバル・スタディーズ研究科 教授)
西川 由紀子(グローバル・スタディーズ研究科 教授)
COHEN, Ada Taggar(神学部 教授)

地域協力機関のCOVID-19に対する対策とポスト・コロナにおける国際協力のあり方について
*UYAR, Aysun(グローバル地域文化学部 准教授)

〈教育・文化・生活〉

■ 教育

コンピュータ・ロボット支援言語学習のオンライン環境における効果測定

*加藤 恒夫(理工学部 准教授)
田村 晃裕(理工学部 准教授)

児童青年の精神症状に対するCOVID-19の影響に関する縦断的研究
*岸田 広平(研究開発推進機構 助教)
石川 信一(心理学部 教授)

パンデミック時代における良心―世界観を更新するための学際的研究
*小原 克博(神学部 教授)
良心学研究センター

遠隔プログラミング演習における自動フィードバックシステムの提案
*横原 絵里奈(理工学部 助教)
小野 景子(理工学部 准教授)

パンデミック下のフィールドワーク方法論
*森 千香子(社会学部 教授)
坂垣 竜太(社会学部 教授)

ポスト=パンデミックの国際都市としてのオンラインアーカイブ構築
*向 正樹(グローバル地域文化学部 准教授)
堀井 優(文学部 教授)

ポストコロナの「市民」をどう考えるか―パブリックマインドの育成に関する実践研究
*村上 紗央里(研究開発推進機構 助手)

ポストコロナ社会で「誰一人取り残さない」ためのアクセシビリティを考える
*阪田 真己子(文化情報学部 教授)
梶山 玉香(法学部 教授)

ソーシャル・ディスタンスを保つ運動遊び
*田附 俊一(スポーツ健康科学部 教授)

オンライン教育におけるオフライン・コミュニケーション
*鶴岡 孝造(社会学部 教授)

オンライン教育でキャンパスの国際化をどう進展させるか?
*山田 礼子(社会学部 教授)
STEVENSON, William R.(社会学部 准教授)
奥井 遼(社会学部 助教)
崔 紗華(社会学部 助教)

■ 文化・生活様式

Project DIVOC 9 1 : A Multiple-view Pilot Study Investigating "Total Leadership" Best Practices Post-COVID 19 in Japan
*BYOSIERE, Philippe(ビジネス研究科 教授)

新型コロナウイルス感染拡大が京都市における地域在住高齢者の健康づくりに及ぼした影響
*石井 好二郎(スポーツ健康科学部 教授)

スポーツ医学研究センター

音楽産業の転換における人々の行動様式の横断的研究
*河瀬 彰宏(文化情報学部 助教)

「Withコロナ」を見据えた新たな文化政策と文化活動のあり方に関する研究
*河島 伸子(経済学部 教授)
創造経済研究センター

オンラインによる新たな伝統文化継承の方法開拓に関する研究
*佐伯 順子(社会学部 教授)
京都と茶文化研究センター

感染症対策下における国民のスポーツ観戦需要に関する研究
*庄子 博人(スポーツ健康科学部 准教授)
スポーツマネジメント研究センター

自宅にて実施する自重を利用した筋力トレーニングにおける筋内低酸素化とトレーニング効果との関係
*高木 俊(スポーツ健康科学部 助教)

アフターコロナ時代における価値観変化とデジタル・コミュニケーション
*高橋 広行(商学部 教授)
佐藤 研一(商学部 准教授)

シリコンコンサートホールによるリモート演奏会支援ツールの開発
*土屋 隆生(理工学部 教授)

■ コミュニケーション

「自分と他者の顔の認識」が非対面コミュニケーションに及ぼす影響
*藤村 友美(心理学部 准教授)

Blockchain技術を用いた高信頼・高セキュリティ情報システムの研究
*芳賀 博英(理工学部 教授)

オンライン会議における視線一致性を高める映像収録表示技術の開発
*片桐 滋(理工学部 教授)

多対多オンラインコミュニケーションツールの研究開発
*木村 共孝(理工学部 准教授)

ビデオコミュニケーションにおける身体性の考察
*大久保 雅史(理工学部 教授)

ネットワーク仮想化に基づく効率的な接続・伝送方式の検討
*佐藤 健哉(理工学部 教授)

●*は研究代表者
●一部重複して分類されるものもあります。
詳細は URL:https://kikou.doshisha.ac.jp/reactivities/covid-19research.html